

三木町百眼百考会議
第2回生きがづくり部会会議 議事概要

記

1. 日 時 平成 24 年 5 月 1 日（火曜日）
開 会 午後 1 時 30 分 閉 会 午後 3 時 00 分
2. 場 所 三木町農村環境改善センター1階 会議室
3. 出 席 者（委 員） 佐藤美幸、森下朱美、阿部裕史、川北照光、菊池雅信、白井美智子、
高重裕子、田村品榮、原内千恵子、福本綾子、古市文雄
（事務局） 八木真澄、福永崇弘
4. 議 事
①テーマの決定について
②次回の会議日程及び協議事項等について
5. 配布資料 協議テーマ案
6. 会議経過
 - ・協議テーマ「コミュニティサロンの設立（高齢者、障がい者、子ども達すべての人が生きていくことを楽しいと思える交流の場づくり）」に決定。
 - ・コミュニティサロンは箱物の設置ではなく、中身をどうするかを考える。
 - ・ジェネリック医薬品希望カードの配付について、担当課の判断で実施できるなら対応して欲しい。
 - ・協議テーマの具体的な内容をそれぞれ考えてもらい、次回協議する。
 - ・資料等があれば5月14日（月）までに事務局に提出し、事前配付する。
7. 次回開催日
平成 24 年 5 月 22 日（火）午後 1 時 30 分から
三木町農村環境改善センター1階 会議室

百眼百考会議テーマ案(生きがいづくり部会)

テーマ案	提案理由
高齢者の健康づくり、仲間づくり	<p>元気な高齢者は定期的に何かをやっている。例えばデイサービス(あけぼの荘)に行ってみんなと会って話をする事で気分転換になるし、グラウンドゴルフとかゲートボールのスポーツをやっている人は体を動かす事で元気になり、勝ちたいとか上手くなりたいと思う事で前向きになれる。</p> <p>そこで、そういう事に参加していない人にも趣味とか興味のある事を聞いて教室を開いたり、来てほしいと言うグループがあれば出前教室とかしてみんなで何かをする事でより元気になれる。</p>
後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険医療費の削減に役立つ。 ・国民健康保険に加入している町民の皆様にジェネリック医薬品希望カードを作って配布する。 <p>※参考～京都府長岡京市、宮城県気仙沼市</p>
三木町の人口を増やす施策について	<p>町の活性化は人口増しかないと思う。施策の一例として、他の市町村から三木町に転入し住宅を建設した場合、5年間に限り土地建物の固定資産税の免除すること。</p>
ボランティア等の人材バンクの設置	<p>定年退職をされた方々のノウハウを生かせる様なボランティアの仕組みづくり。</p>
在るものを活かす(イカス)	<p>在るものを活かす考え方が浸透すれば、人に対する意見も変わってくると思われる。労働の対価として、助け合いの貨幣としての意味を持った地域通貨発行を検討する。取り組む内容として「①町民人材銀行の創設」、「②新しいことを創造する場の提供」、「③物をごみにする前に活用する」を検討する。</p>
人(高齢者、障がい者、子ども達すべての人)が生きていくことを楽しいと思える交流の場作り	<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人の寂しさ、不自由さ。 ・障がい者(児)への支え(家族)。 ・子育て中の親御さんへの手助け(子育て支援センターもあるが、もっと地域(身近な所)別に)。 ・気楽に相談出来る人の配置。 ・様々な年齢層が交流出来る場作り。
高齢者・障がい者・子どもが集える場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは何歳から募集するか。 ・子どもの面倒を高齢者・障がい者がみることが出来るか検討する。 ・おやつや検温、オムツの交換が可能か。

百眼百考会議テーマ案(生きがいづくり部会)

テーマ案	提案理由
健康を維持しながら、人生をすごすために！	毎日することで、自分自身の健康維持を心がけることが大事だからと思うが、それが自分自身を含めてできてないように感じたから。
三木町の高齢化社会の生きがいについて	三木町に住む高齢者が生きがいを持って過ごせるようなまちづくりを目指す。
子供達の遊び場提供	近年、少子化もあり児童が減少、また、子供達の遊び方も屋外から室内へと変化していることもあり同学年、同年齢間における集団での遊び、学年を超えた交流などが希薄となりコミュニケーション能力、思いやりなどを学習する機会が減少している。この対策として、利用しやすい遊び場を整備し、年代(年長者と年少者、幼児が混在する場所)を超えて交流する機会を与えることにより、子供達のコミュニケーション能力、思いやりの心などを育む。
コミュニティサロンの設立	多様な生活課題を持つ人たちが、コミュニティサロンで健康運動士のもと健康体操や日常生活動作がスムーズにできるようにするための運動を行ったり、他者交流も含め皆で楽しめるレクリエーションを楽しんだり、また、傾聴ボランティアに参加してもらい十分に話を聞いてもらえることにより、明るく健康に充実した1日を送ることにより生きがいを見出し自分らしく暮らせるきっかけが作れる。